

ボックス

ウェルBOX-右京

発行／社会福祉法人 京都市右京区社会福祉協議会
右京区ボランティアセンター

京都市右京区太秦森ヶ前町 22-3 TEL075-865-8567 / FAX075-865-8569

発行人／高屋宏章 編集人／玉置すみゑ

URL: <http://www.ukyoku-syakyo.net> / E-mail: info@ukyoku-syakyo.ne.jp

第26号

平成28年12月



「地域における高齢者の暮らしの現状と生活課題について」



神戸学院大学総合リハビリテーション学部
社会リハビリテーション学科教授

西垣 千春 氏

今年で28回目を迎える「右京福祉のまちづくり学校」では、地域支援者200人が集まる中、神戸学院大学総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科教授の西垣千春氏をお招きし、地域における高齢者の暮らしの現状と生活課題についての講演会がおこなわれました。

今日、人口が減少する中、2025年には4人に1人が75歳以上の後期高齢者となり、6人に1人が認知症を発症するといわれています。また、孤立や貧困の問題が深刻化するなど地域福祉を取り巻く環境が大きく変化しようとしています。こうした中、介護保険制度などの見直しを受けて、高齢者の暮らしがどのように変化していくのか、私たち地域支援者は高齢者の生活課題とどのように向き合っていけばいいのか、他府県の事例を用いて話をうかがいました。

高齢者を取り巻く環境の変化と生じる生活課題

まず最初に、高齢者を取り巻く環境については「働き方」・「世帯構造」・「住まい」において変化がみられると話され、その具体的な変化として、働き方に関しては、被雇用者の増加、退職と老後の近い関係性について触れられました。そして、2つ目には、世帯構造に関して、世帯規模の縮小と単身および夫婦のみ高齢者世帯の増加をあげられ、3つ目にあげられた住まいに関しては、都市部における高層住宅の増加と住居戸数の急増の一方で、空き家が増加していることの変化について

報告がありました。続いて、高齢期の多くの人に共通する生活における課題としては、「生活スタイルの変化によっておこる問題」・「寿命の延びによっておこる問題」・「制度の硬直性によっておこる問題」と大きく3つに分けられ、平成16年度から大阪府社会福祉協議会にて実施される社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）で、生活困窮者に対しての相談支援活動を全国に先駆けてすすめられている事例をご紹介いただきました。この取組の中で、高齢者に関する生活困窮の実情に注目してみると、「食事・食費」、「住居関連」、「医療・医療費」において経済的な支援の必要性がもっとも高く、次に緊急性の高い生活課題としては、「認知症



の疑いもしくは認知症の発症」・「生活保護の必要性」・「虐待・DV」があげられるなど、普段何気なくできていた日常生活が、年齢がすすむにつれて維持・継続する力が低下することに加えて、家族の死別等による人間関係の変化や予期せぬ出費・孤立・事故・詐欺などによって生活破綻に陥るケースも少なくないと報告。一方で、こうしたことが起こらないようにしていくには、何が問題発生の原因なのかに目を向けて、そのケースを通じて地域をみることが必要であり、再び問題が発生しないよう機能的な取組みへとつなげていくことが必要であると話されました。では、どのようにして地域で機能的な取組みへとつなげていくかについて西垣氏は3つの予防を紹介。第1次予防としては「現状の健康や良い状態の生活を維持・増進につなげる働きかけ」、第2次予防では「問題発生の早期発見と地域資源の活用」、そして第3次予防では「日常生活を営む力・機能の低下を防ぐための長期目標をもったプランニングと動き出そうとする人・物・制度をつなぐ仕組みを創りだすこと」がとても重要だと話されました。

予防に向けた取組みには、 「感心、関心、共感、共生」 を意識しましょう

最後に、動き出そうとする人や物・制度をつなぐ仕組みを創りだすにはどのようにしたらいいか。これについて西垣氏からは、地域の特性を活かした高齢者にもやさしいまちづくり（エイジフレンドリーシティ）を構築することが大切だと話され、その実現に向けては、高齢になっても自らが持っている力・できることを活かしていけるよう常に興味・関心を持ち続けることと、困っていることや悩んでいることを気軽に話せる・気軽に参加できる自分の居場所を見つけること、そして抱えている不安を共感し解決へと動いてくれる人たちを含めた全員参加型の地域づくりこそが今もっとも必要であるとまとめられ、身近な地域で地域福祉活動をすすめる地域支援者・施設関係者らは熱心に耳を傾け、明日からの地域での支え合い活動の在り方について知識を深めました。

平成28年度右京区社会福祉大会

165名、5団体、3施設、1企業に表彰授与

長年に亘り右京区の地域福祉事業の向上に貢献いただいた方々を称える「右京区社協会長表彰」が9月2日（金）ANA クラウンプラザホテル京都にて行われ、学区社協役員をはじめとする民生児童委員・老人福祉員、社会福祉事業関係団体功労者らに表彰状が授与されました。受賞されました皆様、おめでとうございます。



平成27年度 右京区社協決算報告

平成 27 年度は個別支援の取組強化、地域支援の充実強化の二点を重点項目とし、地域での孤立防止基盤となる学区社協における第3期学区社協重点活動プランの目標達成に向けて、学区社協と連携した取組をすすめました。また、様々な福祉課題へ対応するべく、総合相談やセーフティネット、権利擁護、生活支援などの取組を強化しました。

資金収支計算書 (自) 平成 27 年 4 月 1 日 (至) 平成 28 年 3 月 31 日 区社協本部拠点区分 単位：円

	勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動 による収支	収入	会費収入	16,988,000	16,569,348	418,652
		寄附金収入	1,630,000	1,075,200	554,800
		経常経費補助金収入	9,286,000	9,156,895	129,105
		受託金収入	17,474,000	18,706,805	-1,232,805
		事業収入	2,745,000	2,878,296	-133,296
		受取利息配当金収入	341,000	279,412	61,588
		その他の収入	470,000	498,942	-28,942
		事業活動収入計 (1)	48,934,000	49,164,898	-230,898
	支出	事業費支出	13,823,000	12,678,332	1,144,668
		事務費支出	7,968,000	7,440,722	527,278
		助成金支出	29,295,000	27,282,110	2,012,890
		負担金支出	100,000	100,000	0
		事業活動支出計 (2)	51,186,000	47,501,164	3,684,836
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)		-2,252,000	1,663,734	-3,915,734	
施設整備等 による収支	収入	施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出	固定資産取得支出	2,668,000	2,648,700	19,300
		施設整備等支出計 (5)	2,668,000	2,648,700	19,300
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		-2,668,000	-2,648,700	-19,300
その他の活動 による収支	収入	長期貸付金回収収入	0	70,000	-70,000
		積立資産取崩収入	1,131,000	1,131,756	-756
		拠点区分間繰入金収入	100,000	100,000	0
		その他の活動収入計 (7)	1,231,000	1,301,756	-70,756
	支出	積立資産支出	5,000	7,691	-2,691
		その他の活動による支出	0	50	-50
		その他の活動支出計 (8)	5,000	7,741	-2,741
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)		1,226,000	1,294,015	-68,015
予備費支出 (10)			0	0	0
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)			-3,694,000	309,049	-4,003,049
前期末支払資金残高 (12)			35,223,000	45,725,368	-10,502,368
当期末支払資金残高 (11) + (12)			31,529,000	46,034,417	-14,505,417

平成28年度 右京区社協の重点課題

1. 「新しい助け合い活動」の推進

介護保険の改正による 29 年度実施予定の「介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）」と連携し、「区ちよいぼう隊（仮称）」の活動展開を図ることにより、「新しい助け合い活動」の推進と生活支援サービスの推進体制の整備を図ります。

2. 「新・地域の絆づくり事業」の支援

これまで取り組んできた「健康すこやか学級事業」、「地域の絆づくり事業」の到達点と課題をふまえ、「新・地域の絆づくり事業」として学区社協活動の更なる充実と推進を図ります。そのために、モデル学区社協を選定して、市社協との連携のもと、職員が重点的に支援することで実践事例やノウハウの蓄積、学区社協の組織と活動の拡充に努めます。

地域の福祉活動に使われています。

助け合い事業のサポーター

赤い羽根共同募金

皆様のあたたかいご協力をお願い申し上げます。

赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

共同募金は地域の福祉活動の大事な財源となっています。皆様からの貴重な募金は、京都府共同募金会に集約され、高齢者、障害児者、子育て支援、住民全体の福祉活動に助成されます。その使途内訳は、生活支援事業や社会参加支援事業、ボランティア活動や広報などの総合福祉事業などです。本会も平成 27 年度は、8,735,657 円の配分を受けて各々の活動に助成しました。

今年も 10 月 1 日より赤い羽根共同募金運動が展開されています。引き続き、共同募金へのご理解・ご協力の程、よろしくお願い致します。

寄付金コーナー

右京区の地域福祉発展のため貴重なご厚志を賜り誠にありがとうございました。大切にさせていただきます。
(平成27年11月～28年10月)

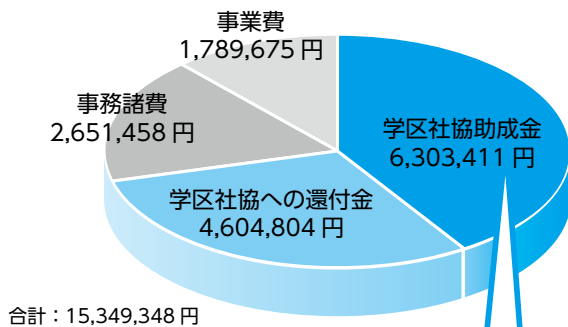
上村俊次 様 蒲田 勝 様 株式会社西村信天堂 様

みんなの力が右京区を元気にする

◆ 賛助会員制度 ◆

右京区社協では、区民の民様のご理解と参加・応援のもとで、区社協と学区社協が取り組む地域福祉活動を充実させるための賛助会員を募集しています。賛助会員とは、社協活動の目的に賛同し、区内の地域福祉活動を財政的に支援いただく“地域福祉の応援団”です。

平成 27 年度 賛助会費の使途内訳



学区社協が実施する主な事業

- ①在宅老人ふれあいまちづくり事業
(会食会・茶話会・配食サービスなど)
- ②障害者地域交流事業
- ③寝具クリーニングサービス事業
- ④広報誌発行事業
- ⑤ボランティアスクール
- ⑥介護者家族懇親会
- ⑦地域まつり・福祉大会
- ⑧子育て支援活動推進事業
- ⑨学区社協重点活動プラン

平成 27 年度 賛助会費募集実績一覧

学区名	世帯数	賛助会費 (円)
太 秦	8,659	2,300,700
南 太 秦	2,165	509,000
常 磐 野	6,195	755,012
安 井	3,237	816,000
嵯 峨 野	6,335	978,100
山 ノ 内	5,261	653,700
西院第一	5,015	538,986
西院第二	8,219	791,000
梅 津	5,026	567,500
北 梅 津	3,911	689,750
嵯 峨	4,968	1,452,400
広 沢	3,298	711,000

学区名	世帯数	賛助会費 (円)
嵐 山	3,854	407,500
水 尾	24	17,000
宕 陰	51	70,000
花 園	2,800	698,400
御 室	4,028	918,100
宇 多 野	3,933	530,500
高 雄	892	474,500
西 京 極	8,528	690,200
葛 野	5,979	375,000
京 北	1,959	405,000
合 計	94,337	15,349,348

※世帯数は、直近の国勢調査の結果を基に平成 28 年 3 月現在です。賛助会費募集実績の世帯数ではありません。

平成27年度 賛助会員募集

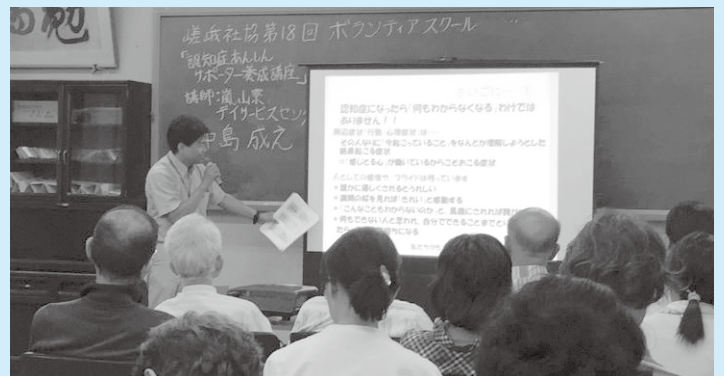
ご協力いただき
ありがとうございました。

平成28年度も 賛助会員募集を行います。

ご理解・ご協力のほど
よろしくお願いします。



南太秦学区 敬老の集い



嵯峨学区 ボランティアスクール



西京極学区 福祉大会



西院第二学区 園児と独居高齢者七夕の集い

右京区ボランティアセンター

ボラセン
って？

ボランティアセンターでは「ボランティアしたい・してほしい・学びたい」などのボランティアに関する相談を受付けています。ボランティアグループ連絡会の活動振興、またボランティア活動に必要な保険の加入手続き、車椅子、プロジェクター等の機材の貸出を行い、様々な活動の支援を行っています。お気軽にご相談ください。

ボランティア相談受付時間

月～金曜日 9:00～17:00

(夜間、土日祝日はFAXでも可)

TEL: 865-8567 FAX: 865-8569

住 所

右京区太秦森ヶ前町 22-3

ホームページ

<http://www.ukyoku-syakyo.net>

区災害ボランティアセンター訓練のお知らせ

災害ボランティアセンターとは、大規模災害時のボランティア活動拠点として設置され、区災害対策本部や市災害ボランティアセンター、地域と連携を取りながら、被災者の困りごとの把握、ボランティアの受入及びコーディネート等を行います。

右京区では12月4日に西京極学区で実施されます区総合防災訓練にあわせ、区災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施します。区内各地域で多発的に発災したと想定し、地域支援者による運営訓練、また災害時要配慮者への支援訓練等を行います。

今年4月に発生しました熊本地震においても、住民にとってより身近な地域での支援が必要とされました。度重なる災害を教訓とし、災害ボランティア活動への地域の皆様のご理解とご協力宜しくをお願いいたします。



災害ボランティア受付・登録



災害ボランティアによる炊き出し訓練



災害ボランティア・地域支援者による要配慮者訪問訓練

※昨年度京北地域での訓練より

ボランティアグループ活動紹介 (京北)

コスモスグループ (声の広報ボランティア)

視覚障害者の方に、京北地域に毎月全戸配布される行政などからの広報情報を朗読し、カセットテープに吹き込みお届けする活動です。視覚障害者の方だけではなく、配布物を読む事が困難になって来られた方のご利用もあり、高齢に伴い配布物を読むのはしんどい方にもお届けできれば・・・とボランティアさんの思いは広がります。ラジオのDJさんのように聞いて下さる方が喜ばれるバックミュージックを工夫されたり録音される状況はまるでラジオスタジオのようです。年1回程度のご利用者さんとの交流会には笑い声が聞こえます。カセットがつながくコミュニティー活動は素敵です。



「さがのえがおワールド」：嵯峨野社協

学区社協では、27年4月から29年3月までの2ヶ年にかけて取組むべき具体的目標（学区社協重点活動プラン）を策定し、各地域で活動がすすめられています。

嵯峨野学区の重点活動プランは「子育て世代との接触機会を増やし、地域の関心度を高め、地域行事への参加を促進します。」とし、高齢化・若い世代の担い手減少が課題とのことから“地域への関心度を高め、若い世代とのネットワークを広げられる「ふれあい・交流」のが必要である”と話し合いが行われ、11月20日各種団体並びに学校・児童館など嵯峨野に関係する諸団体が丸となり、「さがのえがおワールド」が開催されました。

ステージでは、一生懸命に発表を行う児童や日頃の活動の成果を披露する人たちに、会場中から温かい声援が送られ、参加者から「子供の笑顔が見れて元気が出たわ。」との声も聞かれました。工夫を凝らした各ブースでは楽しそうな笑い声が飛び交っており、多世代間の交流が生まれ、地域住民の輪が広がっていくのを感じました。

また、ゲームだけではなく、餅つきや名刺作り、クラフト体験、防災のコーナー等一緒に体験し考える催しもあり、子供からは「こんなの知らなかった。」「自分で作れて楽しい。」という声もあり、若い世代の人たちに知識や技術、地域活動を知ってもらう機会となり、地域の活性化につながっています。

こうして多世代が集い、協働し、開催された「さがのえがおワールド」は、実りある楽しい祭りとなりました。



高齢者の「居場所」運営に関する情報交換会（第2回）を実施

身近で気軽に立ち寄れる高齢者の居場所づくりが区内で広がりをみせています。このような「居場所」は、閉じこもり等の防止や参加者同士の出会いと仲間づくりなどとても重要な役割を果たしています。平成28年6月に開催した第1回情報交換会では区内25ヶ所の居場所運営者らが集まり取り組み内容の意見交換をおこないました。そして、情報交換の質をもっと高めていく第2回情報交換会を10月25日に開催。第1回に参加された居場所運営者に加え、新たに開設をめざす居場所や高齢者を対象とする関係団体・地域包括支援センター・介護予防推進センターなど専門機関等も参加し、区内での居場所の広がりを確認しあいながら情報交換をおこないました。マンションや集合住宅、集会所など地域の資源を活用して居場所づくりをすすめられる運営者の皆さん、私たちと一緒に居場所を盛り上げていきませんか。今後も居場所の活性化に向けて取り組みをすすめていきます。興味・関心のある方は区社協までお問い合わせください。

「すこやかカフェ」モデル事業：嵯峨社協

これまで学区社協で展開されてきた高齢者の仲間づくり・社会参加・健康づくりを目的とした「健康すこやか学級」は、京都市で年間延べ12万人の参加となり介護予防の取組として充実した内容となっています。しかしながら、「事前の申込みが必要で気軽に参加しにくい」、「レクリエーションやゲームが苦手」、「男性の参加者が少ない」などの悩みもありました。そこで、自由に入出りが可能でお茶などを楽しみながら、介護・認知症予防の啓発をおこなうモデル事業に嵯峨社協を選定しました。



清々しい秋晴れとなった10月18日、嵯峨釈迦堂の近くにある西井頭町集会所を会場に嵯峨社協が運営する「すこやかカフェしゃか」モデル事業がスタートしました。第1回目となったこの日は、晴天にも恵まれ集会所の窓を全開にして縁側や庭にもカフェスペースを用意し、これまでの健康すこやか学級とは少し違う参加しやすい雰囲気が感じられます。開店と同時に「この日を楽しみにしていた。」とたくさんの高齢者の方が来られ、おしゃべりを楽しむ姿がとても印象的でした。会場の近くに住む人（90歳女性）は、『ご近所の方から「一緒に行こう」と声をかけていただきました。最近は外出する機会も減りましたので近くにこのような場があると嬉しいです。』と嬉しそうに話してくれました。庭でお茶とお話しを楽しんでいたグループでは、「また次回も来ようね」とお友達と確認しあう姿も。「最初は何人の方が来られるか不安でしたが、今日は50名近くの参加があり、男性の方もたくさん来られたのでよかったです。」とスタッフは、忙しさの中にも充実した表情でオープン初日を振り返ってくれました。



日時：毎月第3火曜日
午前10時から12時

場所：清涼寺の東、
西井頭町の広場

参加費：100円でコーヒー
または紅茶とお菓子付



ぜひお越しください！ Uネットのイベント！

「私たちの活動の一つひとつは本当に小さなことですが、その積み重ねを大切にしていきたいです」

U ネット（右京障害者就労・生活事業所ネットワーク）は19法人、22事業所と団体が加盟しています。障害福祉と地域福祉は密接に結ばれています。障害者の方が地域で安心して暮らしていくためには、地域に居場所があり活躍していく場が必要です。障害について地域の皆さんに知っていただき、障害を持つ方と交流を図ることがUネットでは重要と捉えています。その機会としてサンサ右京とイオンモール京都五条で授産製品の販売会を毎月実施しています。1月26日（木）、2月23日（木）サンサ右京、3月24日（金）イオンモール京都五条にて、それぞれ10時から授産製品の即売会を開催いたします！ぜひふるってお立ち寄りください！



京都市うずまさ学園

就労継続支援B型（パン班）

パン班では食パンやバターロールパンを製造、販売しております。

販売先はうずまさ学園はもちろん、サンサ右京・イオンモール五条店での福祉屋台にも出店しています。他にも人気のシフォンケーキやビーズで作った可愛いアクセサリーもありバラエティ豊かな品揃えです。

ぜひ一度お立ち寄り下さいませ。



- バターロール..... 150円
- 角食パン・山食パン... 220円・240円
- シフォンケーキホール..... 500円
カット..... 130円
- ビーズアクセサリー..... 100円～
- ★他にも焼き菓子・マットもあります★

認知症サロン

「あなたの居場所 おれんじサロン 右京」

「一人で悩まず一度お越しください」

「レクと茶話会で一息つきませんか」

毎月第3火曜日に若年性・初期認知症の方とその家族を対象としたおれんじサロンを開催しています。社協の職員を始め、認知症サポーター講座・アドバンスサポーター講座を受講されたスタッフが参加者をサポートしています。

実施時間は13時30分から15時まで。ケーキとドリンクはセットで200円です。会場は右京合同福祉センター2階にある右京中央老人福祉センターです。お気軽にご参加ください。



京都市太秦障害者デイサービスセンター

●夏祭り開催●

【夏のはっぴーだーまつり】

8月下旬、デイサービスではじめての、祭行事が開催されました。利用者さんは、じんべいを着て、鉢巻をし、神輿を担いで登場。「祭りだっ！！祭りだっ！！」と皆で、わいわい盛り上がりしました。出店にはスーパーボールすくい、射的、パン釣り、ボーリング、福引きなどがあり、客として、そして店員として、思い思いに過ごし、利用者さんの楽しんでおられる表情が、とても印象的でした。女性陣は、マニキュアをする時間もあり、照れながらも男性陣に見せて、女子力アップ！！

フィナーレは、花火でした。はじめて花火をする利用者さんもあり、おそろおそろ火をつけておられましたが、綺麗な花火がつくと、拍手喝采！！とても綺麗だったようですね。祭り終了後は、「また来年もしたい」「学園全体、地域の人も呼べるような祭りにしたいね」と利用者さんから声があがっていました。



手作り神輿で、祭りがスタート☆
～ワッショイ、ワッショイ～



スーパーボールすくいに、夢中です☆



花火の後は、皆で集合写真
～楽しい祭りに、なりました♪～

生活支援員 募集中



右京区社会福祉協議会では、高齢者や、知的・精神に障害がある方などで、判断能力に不安がある方を対象に「日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）」を実施しています。

この事業の担い手となるのが生活支援員（臨時職員）で、利用者の自宅等を週1回～月1回

程度訪問し、福祉サービスの利用に関する助言や日常的な金銭管理などの支援を行っていただきます。高齢者や障害のある方が、地域で安心して生活するための取り組みにご協力いただける方、関心をお持ちの方は区社協までお問い合わせください。（☎ 865-8567）